2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月6日

上場会社名　横浜丸魚株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8045　URL https://www.yokohama-maruuo.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小島　雅裕
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括部長　(氏名) 小畑　和洋　TEL 045-459-2921

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　2026年12月11日
決算補足説明資料作成の有無　:　無
決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	20,400	8.8	205	54.3	517	43.7	348	51.0
2026年3月期中間期	18,745	△0.9	132	△2.6	360	13.8	231	△0.1

(注)包括利益　2027年3月期中間期　4,642百万円 (179.5%)　2026年3月期中間期　1,660百万円 (316.3%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	57.89	―
2026年3月期中間期	36.30	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	37,546	25,538	67.9
2026年3月期	30,871	21,051	67.9

(参考)自己資本　2027年3月期中間期　25,484百万円　2026年3月期　20,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	15.00	―	19.00	34.00
2027年3月期	―	17.00			
2027年3月期(予想)			―	17.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,200	1.4	480	3.8	950	4.7	620	1.3	102.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	6,600,000 株	2026年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	573,238 株	2026年3月期	1,234,898 株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	6,026,795 株	2026年3月期中間期	6,366,808 株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（会計方針の変更に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（収益認識関係） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や賃上げの進展が一部で下支えとなったものの、物価上昇が継続する中、生活防衛意識や節約志向が強まり、個人消費は力強さを欠く状況が続きました。また、期中においては、政府・日本銀行による為替・金融政策等を背景に為替相場が大きく変動したほか、株式市場も不安定な動きとなりました。さらに、世界経済の減速懸念や地政学的リスク等もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの中核事業である水産物卸売事業におきましては、回遊ルートの変化等により、季節商材であるサンマの漁獲量が前年同期を大幅に下回ったほか、近海魚全般においても水揚げが低調に推移し、市場への集荷体制の維持・確保に苦慮する状況となりました。また、円安基調の継続や海外における買付け競争の激化等により、冷凍サバをはじめとする輸入水産物の調達価格が上昇したほか、物流費や光熱費等の上昇による販売費及び一般管理費の負担増も継続しました。

このような状況の下、当社グループは2026年度から2028年度までを対象期間とした「横浜丸魚グループ中期経営計画2026 ～Transform & Growth～」に基づき、中央卸売市場としての荷受・集荷機能の再強化を図るとともに、グループの連携力を活かした商材調達ルートの多角化や、高付加価値商品の提案営業に注力してまいりました。これらの取り組みを通じて、事業基盤の強化を推進し、中期経営計画の目標達成に向けた各種施策を着実に進めております。

当中間連結会計期間の売上高は20,400百万円と前中間連結会計期間に比べ1,655百万円（8.8%）の増収となりました。また、営業利益は205百万円と前中間連結会計期間に比べ72百万円（54.3%）、経常利益は517百万円と前中間連結会計期間に比べ157百万円（43.7%）、親会社株主に帰属する中間純利益は348百万円と前中間連結会計期間に比べ117百万円（51.0%）、それぞれ増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（水産物卸売事業）

売上高は16,868百万円と前中間連結会計期間に比べ2,056百万円（13.9%）の増収となり、営業利益も103百万円と前中間連結会計期間に比べ23百万円（28.7%）の増益となりました。

（水産物販売事業）

売上高は3,236百万円と前中間連結会計期間に比べ411百万円（△11.3%）の減収となりましたが、営業利益は18百万円と前中間連結会計期間に比べ46百万円（前年同中間期　営業損失28百万円）の回復となりました。

（不動産等賃貸事業）

売上高は93百万円と前中間連結会計期間に比べ０百万円（0.4%）の増収となり、営業利益も63百万円と前中間連結会計期間に比べ０百万円（1.6%）の増益となりました。

（運送事業）

売上高は202百万円と前中間連結会計期間に比べ10百万円（5.2%）の増収となり、営業利益も20百万円と前中間連結会計期間に比べ３百万円（18.4%）の増益となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、37,546百万円と前連結会計年度末に比べ6,674百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の増加372百万円、売掛金の減少175百万円、商品及び製品の増加92百万円、時価評価等による投資有価証券の増加6,365百万円によるものであります。

負債は、12,007百万円と前連結会計年度末に比べ2,188百万円増加しました。この主な要因は、買掛金の増加252百万円、投資有価証券の時価評価に伴う繰延税金負債の増加1,965百万円によるものであります。

純資産は、25,538百万円と前連結会計年度末に比べ4,486百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の減少395百万円、自己株式の消却による自己株式の減少629百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加4,273百万円によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物は3,162百万円と前連結会計年度末に比べ379百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにおいては753百万円の収入となりました。この主な要因は、税金等調整前中間純利益517百万円、仕入債務の増加額252百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローにおいては135百万円の支出となりました。この主な要因は、投資有価証券の取得による支出133百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローにおいては238百万円の支出となりました。この主な要因は、短期借入金の純減額50百万円、配当金の支払額（非支配株主への配当金含む）155百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年５月12日に公表いたしました数値から変更はございません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,804	3,177
売掛金	3,762	3,587
商品及び製品	1,566	1,658
その他	36	61
貸倒引当金	△445	△431
流動資産合計	7,724	8,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,638	1,609
土地	2,167	2,167
リース資産（純額）	114	139
その他（純額）	47	42
有形固定資産合計	3,967	3,958
無形固定資産		
ソフトウエア	32	28
リース資産	15	10
その他	10	9
無形固定資産合計	58	49
投資その他の資産		
投資有価証券	19,001	25,366
長期貸付金	0	0
破産更生債権等	262	259
繰延税金資産	9	9
その他	90	88
貸倒引当金	△242	△240
投資その他の資産合計	19,121	25,484
固定資産合計	23,147	29,492
資産合計	30,871	37,546

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,915	3,168
短期借入金	550	500
未払法人税等	127	104
引当金	58	53
その他	355	389
流動負債合計	4,007	4,215
固定負債		
繰延税金負債	5,104	7,070
退職給付に係る負債	353	357
資産除去債務	26	26
その他	327	338
固定負債合計	5,812	7,792
負債合計	9,819	12,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	402	402
利益剰余金	9,070	8,675
自己株式	△1,175	△545
株主資本合計	9,840	10,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,137	15,410
その他の包括利益累計額合計	11,137	15,410
非支配株主持分	74	53
純資産合計	21,051	25,538
負債純資産合計	30,871	37,546

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	18,745	20,400
売上原価	17,077	18,634
売上総利益	1,668	1,766
販売費及び一般管理費	1,535	1,561
営業利益	132	205
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	229	314
その他	8	1
営業外収益合計	238	318
営業外費用		
支払利息	5	5
車両事故損失	5	0
その他	0	0
営業外費用合計	10	6
経常利益	360	517
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益	360	517
法人税、住民税及び事業税	96	140
法人税等調整額	11	7
法人税等合計	107	147
中間純利益	252	369
非支配株主に帰属する中間純利益	21	20
親会社株主に帰属する中間純利益	231	348

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	252	369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,408	4,273
その他の包括利益合計	1,408	4,273
中間包括利益	1,660	4,642
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,639	4,622
非支配株主に係る中間包括利益	21	20

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	360	517
減価償却費	82	76
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3	△16
賞与引当金の増減額（△は減少）	△6	△5
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	2	3
受取利息及び受取配当金	△229	△316
支払利息	5	5
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額（△は増加）	4	177
棚卸資産の増減額（△は増加）	△146	△92
仕入債務の増減額（△は減少）	231	252
未払消費税等の増減額（△は減少）	20	△10
その他	34	63
小計	355	655
利息及び配当金の受取額	198	267
利息の支払額	△5	△5
法人税等の支払額	△140	△163
営業活動によるキャッシュ・フロー	408	753
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△5
定期預金の払戻による収入	－	12
有形固定資産の取得による支出	△17	△5
無形固定資産の取得による支出	△9	△3
投資有価証券の取得による支出	－	△133
貸付けによる支出	－	△2
貸付金の回収による収入	0	1
その他の支出	△1	△4
その他の収入	－	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28	△135
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△35	△33
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	△50
長期借入金の返済による支出	△1	－
自己株式の取得による支出	－	△0
配当金の支払額	△190	△114
非支配株主への配当金の支払額	△22	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△249	△238
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	129	379
現金及び現金同等物の期首残高	2,901	2,783
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,031	3,162

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年８月６日開催の取締役会決議に基づき、2026年８月31日付で、自己株式661,706株の消却を行いました。この結果、当中間連結会計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ629百万円減少し、当中間連結会計期間末において利益剰余金が8,675百万円、自己株式が545百万円となっております。

（会計方針の変更に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	中間連結損益計算書計上額（注２）
	水産物卸売事業	水産物販売事業	不動産等賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
鮮魚	4,328	－	－	－	4,328	－	4,328
冷凍	4,263	－	－	－	4,263	－	4,263
塩干加工他	6,220	－	－	－	6,220	－	6,220
水産物一般	－	3,648	－	－	3,648	－	3,648
運送	－	－	－	192	192	－	192
顧客との契約から生じる収益	14,811	3,648	－	192	18,652	－	18,652
その他の収益	－	－	93	－	93	－	93
外部顧客への売上高	14,811	3,648	93	192	18,745	－	18,745
セグメント間の内部売上高又は振替高	991	43	13	58	1,106	△1,106	－
計	15,803	3,691	107	250	19,852	△1,106	18,745
セグメント利益又は損失（△）	80	△28	62	17	132	0	132

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額０百万円は、棚卸資産の未実現利益０百万円及びセグメント間取引消去０百万円であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	中間連結損益計算書計上額（注２）
	水産物卸売事業	水産物販売事業	不動産等賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
鮮魚	4,898	－	－	－	4,898	－	4,898
冷凍	4,774	－	－	－	4,774	－	4,774
塩干加工他	7,194	－	－	－	7,194	－	7,194
水産物一般	－	3,236	－	－	3,236	－	3,236
運送	－	－	－	202	202	－	202
顧客との契約から生じる収益	16,868	3,236	－	202	20,307	－	20,307
その他の収益	－	－	93	－	93	－	93
外部顧客への売上高	16,868	3,236	93	202	20,400	－	20,400
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,088	47	13	66	1,216	△1,216	－
計	17,956	3,283	107	268	21,617	△1,216	20,400
セグメント利益	103	18	63	20	206	△1	205

（注）１．セグメント利益の調整額△１百万円は、棚卸資産の未実現利益△１百万円及びセグメント間取引消去０百万円であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、（セグメント情報等の注記）に記載のとおりであります。